

検査項目		検査項目の意味		
8	糖尿病	尿糖	尿中に出てくる糖のことを尿糖といいます。 血糖と照合し糖尿病の有無を調べます。	
		血糖	血液中の糖量により、糖尿病やその傾向の有無を調べます。 また膵臓の状態を知る検査です。	
		HbA1c(NGSP)	過去1～2ヶ月間の血糖値の状態を反映しています。	
		インスリン HOMA-R	HOMA-Rは血糖を下げるホルモン(インスリン)の体内での利用を評価する指標です。	
9	脂質	HDLコレステロール	HDLコレステロールは善玉コレステロールとされています。 喫煙や運動不足で低下すると考えられます。 値が小さい場合動脈硬化などのリスクが高まります。	
		LDLコレステロール	LDLコレステロールは悪玉コレステロールとされています。 値が高い場合、狭心症や心筋梗塞、脳梗塞、大動脈瘤、末梢動脈硬化症などのリスクが高まります。	
		総コレステロール	動脈硬化の促進因子です。 体質のほか、過栄養・初老・糖尿病・甲状腺機能低下症でも高値になります。 肝硬変・甲状腺機能亢進症で低値になります。	
		中性脂肪(TG)	動脈硬化、糖尿病等における脂質代謝異常の状態がわかります。 脂質・糖質・アルコール等の取り過ぎや肝臓病・糖尿病で高値になります。	
10	血液検査	白血球数	増加の場合は炎症性疾患・出血・白血病、減少の場合は再生不良性貧血・骨髄異形成症候群・白血病などがあります。	
		赤血球数	増加の場合は赤血球增多症、減少の場合は貧血です。	
		血色素量	低下は貧血を示します。	
		ヘマトクリット	増加の場合は血液の濃縮、脱水を意味します。 低下は貧血症を示します。	
		MCV	平均赤血球容積	赤血球の状態を推測し、 貧血のタイプを調べる検査です。
		MCH	平均赤血球血色素量	
		MCHC	平均赤血球血色素濃度	
		血小板数	血小板は出血を止める役目を果たします。減少で出血しやすくなり、増加は血栓の原因となります。肝機能障害で減少することがあります。	
白血球分類	好中球 リンパ球 単球 好酸球 好塩基球 異型リンパ球 骨髄幼若球	細菌感染・ウイルス感染・各種白血病・アレルギーなどの診断のための検査です。		
11	血清・感染症検査	CRP(炎症反応)	身体のどこかに炎症または組織破壊があるとき高値になります。	
		TP抗体(梅毒)	梅毒検査です。梅毒の初期は陰性のこともあります。	
		HBs抗原	HBs抗原陽性はB型肝炎に感染している状態を示します。	
		HCV抗体	HCV抗体陽性は、現在(または過去に)C型肝炎ウイルスに感染している(存在していた)事を示します。	